

# パウロ・タラン・スン・ニュ・イ司祭の初ミサ

於:カトリック香里教会 2021年10月31日(日)7時と9時のミサ

《ミサ説教要約》「最初から最後のページまでの聖書のメッセージは愛です」と言った聖書学者がいます。愛がなければ、神に喜ばれ、受け入れられる宗教的な慣習も教えも儀式もなく、クリスチャン生活の完成は本質的に慈善にあり、それはクリスチャン生活の基盤、中心、そして頂上です。

イエスは2つの聖書の箇所を参照し、それらを結合して、愛の最高の戒めの2つの顔を形成します。これらは、十字架を構成する縦と横のビームのようなものです。1つは上向き(神を指す)、もう1つは横向き(隣人を指す)です。イエスにとって、これらの2つの次元は一緒になって、本物のクリスチャンであることが何を意味するかを構成します。今日の福音書の中で、イエスは私たちにはっきりと言われました:「神を愛し、あなたの隣人を愛しなさい」。ある聖人は「教会の中で祈るとき手を組んでから、教会の外にいる他の人に手を開かなければなりません。」と述べました。人を愛さずに神を愛することはできません。神を愛さずに人を愛することもできません。私たちが十字架の印をする時、いつも神を愛し、隣人を愛することを忘れないようにしましょう。アーメン。



## 初ミサ当日の様子

写真撮影協力 M.K.

### 新助任司祭からの挨拶

この度、私は香里教会の助任司祭として就任することになりました。司祭の仕事は簡単ではないと思います。叙階式の説教で前田万葉大司教様が、おっしゃいました。司祭は「信者たちが一つの家族となるようにしてください。信者たちを、キリストによって、聖霊のうちに、父である神のもとへ導くことができます。特に『仕えられるためではなく、仕えるために来られ』、失われていたものを探し求めて、救いに導くために来られたよい牧者、キリストにならって生活してください。」と。寛大な心と神の助けをお借りして、私がそうできるよう願っています。

皆さん、これからも、どうぞよろしく願いいたします。

パウロ・タラン・スン・ニュ・イ神父